

充実した学校生活を目指して！

32日間の夏休みが終わり、学校生活が再開しました。再開の日に行われた放送集会で校長先生からも、中学校総合体育大会や吹奏楽コンクールでの南中生の活躍と、茶華道部や美術部の皆さんの校内での活動について称揚していただきましたように、南中生にとって充実した夏休みとなったようです。夏休み明けの学校生活は、大きな行事として、南中祭の運動の部や合唱の部などが計画されています。生徒の皆さんにとっても、保護者の皆様にとっても、思い出がたくさんできる充実した学校生活となることが予想されます。9月以降も残暑が厳しいと言われていきますので、健康に留意して一人一人がたくさんの思い出の残る学校生活を過ごしてください。

校長講話にて、校長先生が夏休みに体験された「心温まるエピソード」が取り上げられました。皆様にも紹介いたします。

私が、先日（8月中旬頃）経験したことです。有料駐車場に停めていた車を出そうとした時に、車の前を小学生の男の子2人が横切ろうとしていました。その2人は最初立ち止まって私の車が通るのをやり過ごそうとしていました。小学生と目が合って、「どうぞ」と合図をすると、2人は走って車の前を通っていきました。その後、一人の男の子が体の向きをこちらに向けて「ありがとうございます」と挨拶をしながらお辞儀をしてくれました。小学校四年生くらいかなと思いますが、その姿にとっても驚きました。そして、なんとも言えないすがすがしい気持ちになりました。誰かに言われたわけでもなく、同い年の友達が横にいても気負うことも恥ずかしいと思うこともなく、自分が大切だと思うことを自分の考えで行動に移していました。その小学生の一瞬の態度に学ぶことができました。本校の学校教育目標は「やさしく生きる」です。この「やさしく生きる」ってなんだろうの答えは、一つではありません。皆さん一人一人が優しく生きるために、自分が大切にしたいことに対して、「それって何だろう」と考えながら、それを実践行動できる人になってほしいな、といつも思っています。まさに、先ほど紹介した小学生の行動は、優しさの一つです。人に言われたことだけで動いているのではなく、自分で考えて相手に対して思いやりや感謝の気持ちを行動に移す、自分という軸をしっかりと持ち、周りの評価に左右されず行動できる強さがあるのだと思います。

中学校総合体育大会やコンクールで大活躍！最終競技も応援しています

中学校総合体育大会で多くの種目が市内優勝や準優勝となったり、個人戦で東海大会出場を果たしたり、吹奏楽コンクールで金賞を受賞したりするなど、富士南中生の素晴らしい活躍を見ることができました。そんな大会も9月19日（土）に開催される駅伝競走の残り1種目となりました。

本校の駅伝部は、「駅伝で頑張りたい」という生徒が自主的に参加しています。志願した生徒は、既に夏休みから練習を始め、今後は休日にも練習に取り組むなどして、本番に臨んでいきます。残暑厳しい中ですが「有終の美」となるよう健康に気を付けて頑張りたいと思います。応援よろしく願いいたします。

